



令和2年度 学校経営計画

大田区立開桜小学校
校長 伊藤 均

開桜小学校は、127年の歴史をもつ大森第二小学校と、61年の歴史をもつ大森第六小学校が統合した歴史を持ち、今年度は開校19年目を迎える。この4年間、「栄えある歴史 受け継いで」と校歌の歌詞にあるように、「継承と発展」をキーワードに、これまでの取組を児童の姿を通して見直すとともに、新たな取組にも挑戦し、学校改善に取り組んできた。その結果、回答率95%という保護者の学校アンケートにおいて、どの項目にも高い評価を得ることができるようになった。保護者・地域の学校教育に対する理解と温かい支援に深く感謝するとともに、期待に応えられるよう、節目の20周年に向けてさらなる発展を目指し、新しい開桜小を創っていく1年とする。

おおた教育
ビジョン

基本的な方針 ○知・徳・体のバランスのとれた開桜の子の育成
○信頼される魅力ある学校づくり

本校の教育目標

○人の気持ちがわかり、行動できる子
○進んで学び、自分のよさを発揮できる子
○規則正しい生活をし、進んで体をきたえる子

1 基本方針について

(1) 知・徳・体のバランスのとれた開桜の子の育成

未来社会を創造的に生きる子供の育成を目指し、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健康・体力の向上」に取り組み、知・徳・体のバランスのとれた開桜小の子供を育成する。

◇知…確かな学力の育成

- ・「わかる・できる」授業への改善に努めるとともに、学習習慣を身に付けさせ、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる。
- ・思考力、判断力、表現力を伸ばす授業を通して、主体的に学習に取り組む態度を育成する。

◇徳…豊かな心の育成・組織的な生活指導

- ・確かな児童理解をもとにして、個や集団に応じた意図的・計画的な指導を行う。
- ・一人一人のよさが認められ、安心して自分の力を伸ばしたり発揮したりできるようにする。
- ・情報の共有を重視するとともに、全教職員が同じ基準のもとに指導していく。

◇体…体力の向上、健康・安全教育の推進

- ・体育学習での運動量の確保に努めるとともに、運動の日常化を図り、児童の体力を向上させる。
- ・健康・安全に対する意識が向上する教育を充実させ、健康・安全に生活する力を培う。

(2) 信頼される魅力ある学校づくり

◇家庭・地域との連携

- ・保護者・地域との連携に努め、教育活動の発信情報を充実させ、開かれた学校にしていく。
- ・地域の協力による体験学習や交流活動を通して、地域に根ざした特色ある教育の実現に努める。

◇信頼される学校づくり

- ・教育公務員として研究と修養に努めさせるとともに、危機管理意識を育成し、サービスの遵守を徹底する。

(3) 一人一人を大切に教育

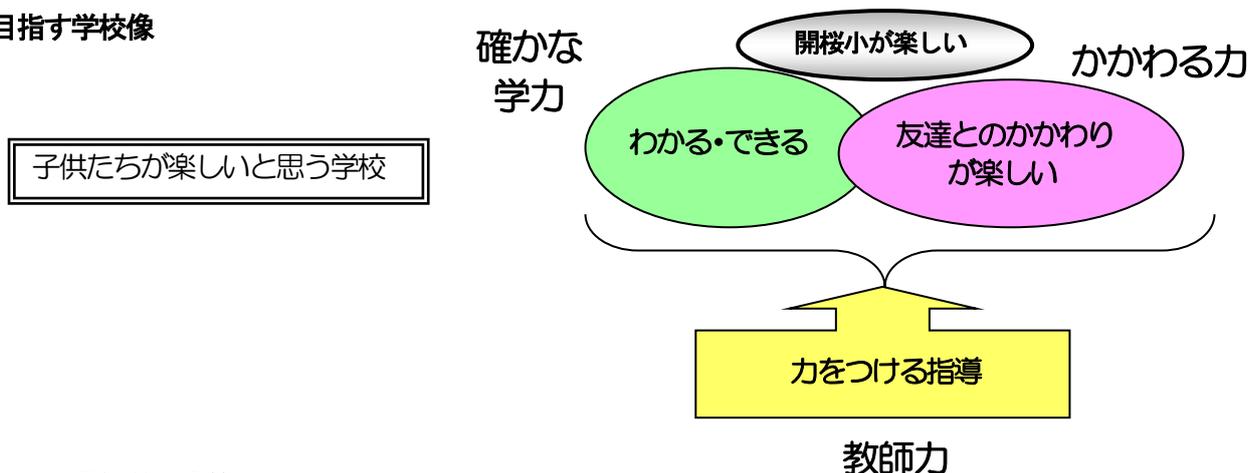
◇多様性の尊重といじめ・不登校の未然防止・早期対応

- ・開桜小に学ぶ誰もが「学校が楽しい」と思えるように、児童一人一人をよく見取り、適切に向き合う。
- ・人権教育を重視し、共に生きる力を育成する。

◇特別支援教育の推進

- ・個の課題に応じた指導の充実を目指し、サポートルームの指導や特別支援校内委員会を充実させ、学習能力や集団適応能力等の伸長を図り、課題解決のための組織的な対応を行う。

2 目指す学校像



3 10の具体的な方策

① 学級・学年経営の充実

- 居心地の良い学級づくり⇒学級活動の創意・工夫
- 個に応じた適切かつ柔軟な指導⇒児童理解が土台（対話、全員面接、アンケート）
- 学習・生活スタンダードの徹底 ○学年で育てる（合同・交換授業） ○教室環境の美化

② 基礎学力の向上

- 練習・復習の時間確保⇒授業、放課後・土曜の補習、学力向上ウィーク、家庭学習
- 算数の習熟度別指導（学級数+α） ○漢字検定に向けた取組

③ 読書活動の推進

- 週3日の朝読書と各学期の開桜小読書週間 ○読書記録の継続 ○推薦図書の紹介
- 読みかけの本を手元に ○学級文庫の充実 ○大森西図書館の活用
- 読書学習司書の活用や図書ボランティア「さくらんぼ」との連携

④ 言語活動の推進

- 全教科・領域で表現する活動の充実⇒授業研究で取り組む ○展覧会で作品説明
- 辞書を引く習慣 ○言語環境の充実（言葉遣い・掲示物）

⑤ かかわる力の育成

- 特別の教科「道徳」⇒内容Bの重点化 ○あいさつ指導（開桜小あいさつ検定）
- 考え、話し合う学習
- 特別活動の充実⇒学校行事、児童集会、たてわり活動、
交流学習（児童同士、幼・保、高齢者、外国人留学生、地域人材等）

⑥ 体力、運動意欲の向上

- 体育授業の運動量アップ（場の工夫、用具の充実）、重点運動期間の設定
- コオーディネーショントレーニング ○外遊びへの働きかけ

⑦ 授業力の向上

- 新学習指導要領を踏まえた授業改善⇒学年会、授業観察、ペア研修、校内研修
- 校内研究…「わかる・できるを目指した授業」⇒自分の考えを表現できる力の育成
- 各学力調査結果をもとにした授業改善推進プランの作成
- 若手教員の育成（開桜未来塾） ○ICTの効果的活用（タブレット）

⑧ 保護者・地域との連携力アップ

- 発信情報の充実⇒学校ホームページ、緊急メールシステム等
- 保護者の来校を奨励（学習のお手伝い）
- 地域学習の充実（見学、ゲストティーチャー、資料活用）

⑨ 20周年に向けて

- 校内環境整備
- 見通しをもった準備

⑩ 教員の勤務時間の適正化

- 子供とかかわる時間、学ぶ・考える時間の創出
⇒会議の縮小、業務の効率化、意識改革

